

(二) 戦後の整備事業

農地解放

昭和二十一年から二十三年には、農地改革が行われました。

それまで多くの農家は、地主から土地を借り、田畑を耕していました。そして、収穫すると、米やお金で借賃をはらいます。このような農家を、小作人といいますが、昭和二十一年、法律によって、小作人が借りて耕していた土地を、安く、買うことができるようになりました。これを農地解放といいますが、今まで、他人の土地を借りて耕していましたが、自分のものになると、土地を大切にする気持ちは、大きく変わり、収穫される生産量も多くなりました。これは、農業中心の中島村を大きく発展させる原因となりました。